

令和2年度 スクールコンサート 富永裕輔 ～明日への翼～

感染症対策に留意して、本年度も北九州市文化大使シンガーソングライター富永裕輔さんをお迎えし、「スクールコンサート～明日への翼～」を4校の中学校にて実施しました。

「夢を持つことの大切さ」について、ご自身の体験談を交えたトークと歌で、分かりやすく届けていただき、心に残るスクールコンサートとなりました。



★開催校★

9/28 (月)
尾倉中学校
10/1 (木)
曾根中学校
10/5 (月)
板櫃中学校
12/2 (水)
熊西中学校

『ひまわりの花』この曲は、「NHK 北九州放送局80周年記念きたきゅうのうたグランプリ」を受賞した曲です。一番の宝物は一人ひとり違う自分らしさの種。その花を咲かせるためにときには試練もあるけれど、必ず乗り越えられるという力強い励ましが送られる「どんなときも太陽見上げ／まっすぐに生きていこう／ぼくたちはひまわりの花／この街に咲く／ひまわりの花」という歌詞を心温まるメロディーにのせて、生徒の心に届けていただきました。

富永裕輔さんとサポート・ミュージシャンのSho Hamada (ギター) [向かって右] さん、Cozy-Ash (クラリネット) [向かって左] さん



また、人権教育教材「新版 いのち」に掲載されている『明日への翼』や北九州市合唱部との交流から生まれた『Sing With You』も歌っていただきました。



参加生徒の感想文から

全部の歌が心に残っていて、とても楽しい時を過ごせました。富永さんの歌の中で、僕は「傷つきやすい君へ」が一番心に残りました。「傷つきやすいというのは、やさしいこと」その言葉が心に刺さりました。どこか僕に当てはまる気がしたからです。その歌詞を聴きながら目を閉じていると自然と涙がでました。次に心に残ったことは、最初に歌っていた「ひまわりの花」です。歌詞というよりは、歌全体が良かったです。力強い声となめらかなリズムがとても印象に残っています。富永さんの話で夢について話していた時、夢もなく、したいこともない時に光が差し込むという言葉があり、僕がその夢も何もない状態なので、その言葉で少し安心できました。

(中学校2年生)

今日のコンサートを聴いて、とても勇気と元気をもらいました。1曲目から自分たちの地元のことを歌った曲で、その場所の風景を思い浮かべながら聴くと、なぜか懐かしくそして北九州市にいてよかったと思えました。そして夢をもってそれに挑戦することの大切さを教えてもらった気がします。他にも友達を大切にすること一人である友達に話かけるなど、友好関係についても教えてもらいました。

(中学校2年生)

とても力強い歌声と美しい楽器の音色で、迫力のある楽しいスクールコンサートでした。富永さんが世界や全国で活躍されていることを知って、多くの人が勇気づけられているのだろうと感じました。コロナ禍で、多くの人が生活に制限があるけれど、音楽で救われる場面がたくさんあったので、音楽のパワーを実感することができました。素晴らしいコンサートを開催してくださり、ありがとうございました。

(中学校3年生)

今日はスクールコンサートを行ってくださり、ありがとうございました。私はコロナ禍で、悲しいことやつらいことばかり考え、今の世の中には、「幸せ」はないと思っていました。しかし、今日は、たくさんの歌を聴き、幸せは自分でつかむものだ分かりました。今日はたくさんの思いを曲にして届けてくださりありがとうございました。これからも応援しています。

(中学校1年生)

富永さんの歌は歌詞が心に残りました。私は「遠い恋の物語」という歌がもっとも気に入りました。すべてこれからの人生において大切なことが詰まっていた。また、演奏も素晴らしくて、初めてコンサートで眠くならず聴き入ってしまいました。今回はコロナで立ち上がって歌ったり、肩を組んだりできませんでしたが、しかしそれでも十分に楽しめました。またこんな状況だからこそ、富永さんの言葉や歌詞を思い出して元気を出していきたいなと思いました。貴重な経験をさせてくれた人たちに感謝したいです。

(中学校2年生)

スクールコンサートが始まると、富永さんの歌やギターやクラリネットの音が体育館中にひびいてとてもきれいでした。一つ一つの曲の内容やその曲に込められた思いまで分かりやすく話してくれてとてもうれしかったです。特に心に残っていることは、「悩んでいることは悪いことではない」と言っていたことです。私の周りにも悩んでいる人はたくさんいるけれど「優しいから傷ついている」「優しいから悩んでいる」と聞いて、確かにそうかもしれないと思いました。富永さんの曲はすべて歌詞に意味があって、1回聞くだけでも心に響くものばかりでした。歌声もきれいで聞いていて元気をもらえました。

(中学校2年生)